

平成28年度第2四半期実績評価

1 記念館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

第2四半期の観覧者数は、前年同期を下回ったが、過去5年間の同期比で見ると3番目に多く、平均的な結果と言える。展示事業については、7月は原節子展が好調であったため、同月比で過去最多の来館者数を記録したが、8月は過去5年間の同月比で最少、9月も過去5年間の同月比で2番目に少ない来館者数であった。一方で、上映事業については、邦画・洋画ともに名作を揃えた結果、過去5年間の同期比で2番目に多い来館者数となった。

2 記念館の施設及び設備並びに資料等の維持管理に関する業務

● 施設・設備の維持管理

- ・通常の設備保守・点検等が適切に実施されている。
- ・館内環境について適宜報告があり、記念館の環境維持に配慮した施設管理を実施している。
- ・庭園内のモクレンの枯木伐採を業者に依頼し実施するなど、庭園内の安全確保及び景観維持に努めている。
- ・情報資料室にアリの侵入が確認されたことから、迅速に原因を突き止め、外壁と床の間のコーキングを打ち直す修繕を業者に依頼するなど、施設の環境維持に努めている。

● 資料等の維持管理

- ・施設の特性を考慮しつつ、適正な維持管理が行われている。

3 記念館の事業の企画及び実施に関する業務

● 上映及び展示

- ・事業計画どおり、通常展や映画事業を実施している。
- ・展示事業では、昨年度の3月から継続して、鎌倉ゆかりの大女優である故原節子さんを偲ぶ特別展を開催した。7月中旬からは、夏休み期間であることを考慮し若い世代の関心を引くため、ハリウッド映画のカップルをテーマとした企画展に切り替えた。9月次中旬からは企画を一変して、世界的に有名な監督黒澤明と俳優三船敏郎がテーマの特別展を開催した。著名ではあるが、若い世代には馴染みが薄いことを考え、チラシはピンクを差し色として使ったデザインを採用するなどカジュアルな印象を演出する工夫が見られた。
- ・上映事業では、洋画の名作を上映するとともに、シネマセレクションとして終戦記念日を迎える時期に合わせて戦争と美術をテーマにした映画の上映を行ったほか、恋愛をテーマとした新作ハリウッド映画を上映した。

● 調査、研究及び情報提供

- ・映画関連資料の調査及び研究や、国立フィルムセンターをはじめとする関係機関や施設との情報交換等を行い、最新の映画関連情報の収集に努めた。
- ・情報資料室において映画資料や関連図書等の情報提供を行った。また、映画上映時に配布している各作品の概要をまとめたリーフレットを綴じたものを配架し、誰でも手に取って見られるように整えた。

● 広報及び宣伝等

- ・市広報に展覧会や上映内容などの情報を掲載している。さらに、庁舎内のモニターによる広告も利用し、より多くの市民等へ情報を提供した。
- ・チラシの配架及びポスターの掲示等によるPRにより記念館の広報及び宣伝等に努めた。

● その他の事業

- ・講演会については、企画展に合わせて映画評論家である渡辺祥子さんによるハリウッドカップルをテーマとしたトークイベントを開催し、かつての古い話から最新事情までをお話しいただき好評を得た。
- ・友の会会員限定のイベントとして川喜多夫妻ゆかりの思い出の名画上映会を開催し「会議は踊る」を上映した。
- ・例年通り夏休みの時期に開催した「ぐるぐるアニメワークショップ」、「子どもシナリオ・映画教室」は、人気の事業として定着しており、子どもたちが主体的に映像や映画に関わることができる貴重な機会となっている。
- ・親子層に来館してもらう機会として、初めての試みである「夏の映画上映会」を開催し、夏休みに親子で楽しめる映画作品を上映した。

4 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書等は期日までに提出されている。
7月分:8月12日、8月分:9月14日、9月分:10月14日提出
- ・利用者からの声に対しては迅速に回答し、管理運営に反映させることを検討している。

● 事故・苦情対応

- ・事故・苦情はなし。

● その他

- ・7月に鎌倉駅地下道ギャラリー50にて、施設紹介の展示を実施した。
- ・近隣文化施設4館連携事業として「ミュージアムめぐりスタンプラリー」を実施した。

5 全体評価

・第2四半期の来館者数は、展示事業で伸び悩み、上映事業が好調であったことから、過去5年間の同期比で見たときに平均的な結果となった。昨年度の夏、展示事業に関して、知名度の高い戸田奈津子氏を取り上げることで夏休み期間の若年層の呼び込みに成功した経験を活かし、今年度も展示事業に若年層を取り込むため、親しみやすいテーマとしてハリウッドカップルを扱ったが、想定していたよりも若年層の来館は少なかった。その要因として、チラシのデザインにはイラストを用いてカジュアルな印象を演出したが、チラシからは抽象的な内容しか伝わらなかったことや、古い名作を多く展示したため若年層には思ったように響かなかったことが考えられる。企画内容や広報活動について、昨年度と今年度の違いを今一度比較し、今年度の反省を今後の企画に活かしてほしい。

また、上映事業については、第2四半期の来館者数としては過去2番目に多かった。洋画、邦画ともに名作を揃えたことと、昨年度に引き続き終戦記念日に合わせて戦争をテーマとした作品上映を行ったが、単に戦争というだけでなく「戦争と美術」をテーマに作品を選定した工夫が、多くの市民等に来館していただいた要因と考えられる。このようにテーマに趣向を凝らすことは、新たな客層の開拓にも繋がると考えられるので、引き続き柔軟な企画力を活かし、より多くの市民等に来館し、満足していただける作品選定に努めてほしい。その他、夏休み期間に親子で来館してもらえるように、新たに子ども向け作品の上映会を実施したりと、集客への努力が認められる。企画内容や手法等の検討を重ねることで、今後より効果的で充実度の高い企画になることを期待したい。

・施設の維持管理などの業務に関しては、細やかな報告が概ね徹底されており、施設管理者に対して市が求める水準に達している。

平成28年度第2四半期判定評価表

評価項目	判定点	第2四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
2 記念館の施設及び設備並びに資料等の維持管理に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
資料等の維持管理			
資料等の維持管理は適切に実施されているか	5	○	
3 記念館の事業の企画及び実施に関する業務			
上映及び展示			
計画どおりに企画展が開催されているか	5	○	
予定どおり映画上映が実施されているか	5	○	
調査、研究及び情報提供			
映画関連資料等の調査・研究を行っているか	3	○	
研究の成果を公開しているか	3	○	
その他必要な業務			
展示・上映以外の事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%